

駒ヶ根民報

No.1387
2017.09.24
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

9月議会一般質問

竹村ほまれ議員

- ① 平和都市、駒ヶ根市としての発信を
- ② 深刻化する自然災害への備えは
- ③ 全国学力テストのあり方を問う

近年、雨の降り方や雨量・風が尋常でない規模になっています。環境変化も国際緊張も深刻です！



竹村ほまれ議員の一般質問

平和都市宣言をしている駒ヶ根市としての発信を

質問 核兵器禁止条約交渉会議において、唯一の被爆国である日本政府は核兵器禁止条約への参加を拒み、反対している。核兵器の禁止廃絶は人類の生存に関わる死活的課題だ。平和都市を宣言している市長として、この政府の対応をどのように見解するのか。

実効性のある核兵器禁止条約に

市長 核兵器禁止条約の採択は核兵器のない世界の実現への具体的な第一歩が生み出されたものであり心から歓迎をする。核兵器廃絶に向けて国際社会が総力を挙げて協力しこの条約の締結を促進することもにも実効性のある核兵器禁止条約になるよう強く要請したい。

平和宣言の看板設置を

質問 駒ヶ根市は昭和59年に「平和都市」とすることを宣言。庁舎敷地内に平和都市宣言の看板を掲げて世界平和をアピールしていた時期もあったが、現在は撤去されてない。平和都市を謳う駒ヶ根市の意思を看板等で宣言して頂くことはあるか。

目に触れる場所に設置する

市長 他の宣言と共に名称掲

載した看板を作成して、市民の目に触れる場所に設置したい。



深刻化する

自然災害への備えは

質問 天竜川水系の大規模洪水災害に対応する備えを浸水想定区域と照らし、ハードソフト両面において構築する必要があるが、現在の到達点と、今後の体制をどのように考えているか。

命守る地域づくりを推進

市長 洪水に対するハード整備については天上によりほぼ計画通りに整備されているが、未整備区間の築堤等さらなる整備促進を要望している。

ソフト対策は本年度中に南北下平、夫々の防災マップを完成させ洪水および土砂災害から命を守る地域づくりを推進する。

※千年に一回の降雨による大洪水の浸水想定区域は、南下平は殆どのエリアで浸水が想定される。

線状降水帯への備えは

質問 予測が困難で短時間で甚大な被害をもたらす線状降水帯に対する備えや対応は。

自助共助の避難体制を

市長 事前の避難関連情報の発令が大変難しい。自助共助の避難体制を構築する必要がある。市は最大限の体制をとるが、地区に於けるイザという時の避難に取り組んで頂きたい。

地域防災計画の見直しは

質問 国の中央防災会議の公表では、地震が起きる場所や時期、規模について、確度が高い予測は困難で、大震法に基づき対応は改める必要があるとした。大震法に基づき計画された当市の地域防災計画の扱い見直しをどのように考えているか。

県計画の変更で見直す

市長 市の防災計画は、県の地域防災計画と整合性を図り策定をされている事から、見直しに当たっては今後の法改正を注視し、県の動向を見ながら、県計画が変更されるときに見直していく。

市民を導く体制の確立は

質問 急な地震でも行政機能を麻痺させず、市民をより安全な方向へ導く指揮を遂行できる体制対応は図られているのか。

業務継続計画を作成

市長 今年度駒ヶ根市の業務継続計画（BCP）を作成し、いざという時に業務がこなせる体制づくりを検討していく。

全国学力テストのあり方を問う

質問 全国学力テストは、学校間の過度な競争や序列化に繋がる等、本来の健やかな成長を求める教育事態をゆがめる状況もあると考えるが、現在の全国学力テストの在り方に対してどのような見解をもっているか。

結果を改善に役立てていく

教育長 テストの調査結果を多面的に分析し、児童生徒の全般的な学習状況や、指導法の改善に役立てていく事が重要。

画一化教育の進捗が懸念

質問 結果公表による学校の序列化、授業改善策定の押し付けなどの許では、教師から自主的に創意工夫をした授業を奪い、画一化教育が進行するのではないかと懸念する。当市の教育現場の実態と展望はどうか。

授業改善を検討してる

教育長 当市では学力向上検討委員会を組織し、学習意欲の喚起であるとか学級づくりも含めて授業改善の方策を検討して実現しようとしている。

